

システムレポートイングリファレンス

Novell®
ZENworks® 10 Configuration Management SP3

10.3

2010年3月30日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページを参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 概要	9
1.1 ZENworks Reporting Server のレポート	9
1.2 インベントリレポート	10
1.3 Web インテリジェンスドキュメント	10
1.4 ユニバース	10
1.5 Central Configuration Manager	10
1.6 レポーティング用語	11
2 システムレポーティングの設定	13
2.1 レポーティング権の理解と割り当て	13
2.1.1 レポーティング権の理解	13
2.1.2 レポーティングフォルダの理解	14
2.1.3 事前定義されたレポートの理解	14
2.1.4 管理者へのレポーティング権の割り当て	16
2.2 レポートフォルダの同期化	17
2.3 ZENworks Reporting Server のパスフレーズの変更	17
2.4 ZENworks Reporting Server からのレポートのエクスポートの設定	18
2.4.1 ZENworks 管理者に電子メール通知を送信するように ZENworks Reporting Server を設定する	18
2.4.2 ZENworks Reporting Server を設定して宛先のファイル保存場所を設定する	20
2.4.3 ZENworks レポートサーバを設定して宛先 FTP サーバを設定する	21
2.5 ZENworks Reporting Server InfoView を起動します	21
2.6 ZENworks Reporting Server InfoView 初期設定の設定	22
2.7 ユーザ詳細のレポーティング	24
3 レポートの作成と管理	27
3.1 カスタムレポート定義の作成	27
3.2 レポートの管理	27
3.3 レポートディスクッションの管理	29
4 システムレポーティングのトラブルシューティング	31
4.1 システムレポーティングのエラーメッセージ	31
4.2 システムレポーティングのトラブルシューティングストラテジ	33
A 参考資料	39
B マニュアルの更新	41
B.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)	41

このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 Configuration Management SP3 システムレポーティングリファレンス』には、ZENwork Reporting Server を使用したレポートの作成と管理の成功に役立つ情報が含まれています。それらの情報は、次の章で構成されています。

- ◆ 9 ページの第 1 章「概要」
- ◆ 13 ページの第 2 章「システムレポーティングの設定」
- ◆ 27 ページの第 3 章「レポートの作成と管理」
- ◆ 31 ページの第 4 章「システムレポーティングのトラブルシューティング」
- ◆ 39 ページの付録 A「参考資料」
- ◆ 41 ページの付録 B「マニュアルの更新」

対象読者

このガイドは、Novell® ZENworks® の管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、『[ZENworks 10 Configuration Management SP3 マニュアル \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/)』を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (l) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 を使用すると、管理ゾーン内のアクティビティをシステムレポートを介して監視できます。

レポートには、大量のインベントリ、パッケージング、その他のデバイス、またはバンドル情報の詳細を含めることができます。新規レポートの作成、既存のレポートの編集、レポートの削除、レポートのスケジュールを実行できます。独自の基準に基づいてレポートを組織および保存するためのフォルダを作成できます。

次のセクションには、レポーティングの概念を理解する上で役立つ追加情報が記載されています。

- ◆ [9 ページのセクション 1.1 「ZENworks Reporting Server のレポート」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.2 「インベントリレポート」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.3 「Web インテリジェンスドキュメント」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.4 「ユニバース」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.5 「Central Configuration Manager」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.6 「レポーティング用語」](#)

1.1 ZENworks Reporting Server のレポート

ZENworks Reporting Server は、ZENworks Reporting Server InfoView と呼ばれる Web インタフェースを備えています。InfoView は、Web インテリジェンス * ドキュメント、スプレッドシートなどのドキュメントをはじめとして、企業にとって有用な幅広いビジネス情報を提供します。ZENworks Reporting Server を使用すると、情報にアクセスし、ニーズに合わせて整理できます。

ZENworks Reporting Server InfoView には次のような機能があります。

- ◆ バンドル、ポリシー、検出されたデバイス、インベントリ、アセット管理、パッチ管理、ZENworks システムメッセージのレポート定義を作成する。
- ◆ レポートをスケジュールする。
- ◆ レポートの履歴を保持する。
- ◆ Microsoft* Excel*、Adobe* PDF、BusinessObjects* WID* などのさまざまなフォーマットでレポートをエクスポートする。
- ◆ レポートを印刷する。
- ◆ 電子メールを介してレポートを配布する。
- ◆ レポートに関するディスカッションを開催する。

ZENworks Reporting Server InfoView では、事前定義されたレポートとカスタムレポートを管理できます。事前定義されたレポートには、ZENworks Configuration Management に付属するバンドル、ポリシー、検出デバイス、およびパッチ管理のレポート定義が含まれています。

1.2 インベントリレポート

ZENworks Configuration Management を使用すると、ハードウェア、ソフトウェア、および人口統計情報に関するデータを含む、管理ゾーン内のすべてのデバイスのインベントリを取得できます。インベントリスキャンを使用すると、管理ゾーンにある管理対象デバイスからデータを収集できます。インベントリのみをスキャンを使用すると、インベントリモジュールがインストールされており、ZENworks Adaptive Agent がインストールされていないゾーン内のデバイスをスキャンできます。このタイプのスキャンは、Windows*、NetWare®、および Mac OS*X を実行しているデバイスの場合に有用です。

インベントリレポートの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management アセットインベントリリファレンス』を参照してください。

1.3 Web インテリジェンスドキュメント

Web インテリジェンスは、使いやすく柔軟性の高いインタラクティブなユーザインタフェースを備えており、Web 上や、セキュアなイントラネットおよびエクストラネット上で、データのレポートを作成および分析できます。Web インテリジェンスドキュメントを作成するには、ZENworks Reporting Server InfoView で ZENworks ユニバースを選択し、1つ以上のクエリを作成して、ドキュメントのデータを定義します。

1.4 ユニバース

ユニバースは、特許を取得したビジネスオブジェクトテクノロジーです。ユニバースは、ユーザと1つのデータベースの間の意味レイヤとして働きます。ユニバースは次のものを含むファイルです。

- ◆ 「オブジェクト」と呼ばれる SQL 構造。これは、カラム、テーブル、およびデータベース機能など、データベース内の実際の SQL 構造にマップします。オブジェクトはクラスにグループ化されます。オブジェクトおよびクラスは両方とも Web インテリジェンスユーザに対して可視になっています。
- ◆ テーブルおよびジョインのスキーマは、データベース内で使用されます。オブジェクトはスキーマに含めるデータベース構造から作成されます。このスキーマは Designer ユーザにのみ利用可能です。Web インテリジェンスおよびデスクトップインテリジェンス * ユーザには可視ではありません。

Web Intelligence ユーザは、ユニバースに接続し、データベースに対してクエリを実行します。ユーザはユニバース内のオブジェクトを使用してデータ分析やレポート作成を実行できます。データベース内の下層にあるデータ構造を参照したり、知る必要はありません。

ユニバースは、Web Intelligence ユーザがデータベースに対してクエリを実行し、レポート作成やデータ分析を実行できるインタフェースを提供します。

1.5 Central Configuration Manager

Central Configuration Manager は Windows 上のサーバ管理ツールで、Server Intelligence Agent を開始または停止できます。

Central Configuration Manager の詳細については、『*BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Administrator's Guide* (http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_admin_en.pdf)』を参照してください。

1.6 レポートینگ用語

次の表は、ZENworks Reporting Server のレポートに関連する用語を示しています。

表 1-1 ZENworks レポートینگの用語

用語	説明
ZENworks Reporting Server InfoView	ZENworks Reporting Server を通じてレポートを操作するためのメインユーザインタフェース。ZENworks Reporting Server InfoView は、Web ブラウザ内で動作し、レポートを表示、エクスポート、印刷、およびスケジュールする機能を提供します。
ユニバース	データベース内で使用されるテーブルおよびジョインの SQL 構造およびスキーマを含むファイル。
Web インテリジェンスドキュメント	ZENworks Reporting Server InfoView でユニバースを選択し、1 つ以上のクエリを作成して、ドキュメントのデータコンテンツを定義することで生成されるレポート。
レポート定義	データベースフィールドなどのレポート情報が含まれる Web Intelligence ドキュメント。
レポートインスタンス	レポートインスタンスは、スケジュールされたレポートを実行すると作成されます。レポートインスタンスには、レポートを実行したときに使用可能なデータのみが含まれます。最新のレポートインスタンスには、最新のデータが含まれます。
管理者アカウント	ユーザ名として Administrator を使用して ZENworks Reporting Server にログインしている個人。

システムレポートिंगの設定

2

ZENworks Reporting Server のレポートを生成する前に、次のセクションに記載されている情報を確認してください。

- [13 ページのセクション 2.1 「レポートिंग権の理解と割り当て」](#)
- [17 ページのセクション 2.2 「レポートフォルダの同期化」](#)
- [17 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のパスフレーズの変更」](#)
- [18 ページのセクション 2.4 「ZENworks Reporting Server からのレポートのエクスポートの設定」](#)
- [22 ページのセクション 2.5 「ZENworks Reporting Server InfoView を起動します」](#)
- [22 ページのセクション 2.6 「ZENworks Reporting Server InfoView 初期設定の設定」](#)
- [24 ページのセクション 2.7 「ユーザ詳細のレポートिंग」](#)

2.1 レポートिंग権の理解と割り当て

次のセクションでは、ZENworks® 管理者が使用できるレポートिंग権について詳しく説明します。

- [13 ページのセクション 2.1.1 「レポートिंग権の理解」](#)
- [14 ページのセクション 2.1.2 「レポートिंगフォルダの理解」](#)
- [14 ページのセクション 2.1.3 「事前定義されたレポートの理解」](#)
- [16 ページのセクション 2.1.4 「管理者へのレポートिंग権の割り当て」](#)

2.1.1 レポートिंग権の理解

ZENworks のスーパー管理者は、フォルダまたは Web インテリジェンスドキュメントのレポートの実行 / 発行権またはレポートの作成 / 削除権を他の管理者に割り当てることができます。

管理者は、特別な権利がフォルダに割り当てられている場合、そのフォルダに含まれるサブフォルダやレポートは、すべて同じ権利を持ちます。ただし、サブフォルダやレポートに特定の権利が割り当てられている場合を除きます。管理者に明示的に権利が割り当てられていない場合、管理者はすべてのレポートのリストを表示することしかできません。

- **レポートの実行 / 発行権** : 管理者は、レポートをスケジュールしたり、履歴レポートを管理したりできます。この権利では、権利が付与されているフォルダ内のレポートやフォルダを作成または削除することはできません。ただし、管理者はコピー先フォルダで作成 / 削除権を持っている場合は、レポートを別のフォルダにコピーできます。
- **レポートの作成 / 削除権** : レポートの実行 / 発行権を含みます。管理者は、権利が付与されているフォルダ内に含まれる Web Intelligence ドキュメントやフォルダを作成、変更、または削除できます。

レポート権の割り当て方法の詳細については、[16 ページのセクション 2.1.4 「管理者へのレポートिंग権の割り当て」](#)を参照してください。

2.1.2 レポーティングフォルダの理解

ZENworks レポーティングには、パーソナルフォルダのほかに、レポートを作成および整理するための共有フォルダもあります。パーソナルフォルダ内に作成したレポートはその管理者個人のもので、他の管理者と共有したり、他の管理者が表示したりすることはできません。他の管理者がアクセスできるレポートは、共有フォルダ内に作成したレポートだけです。

ZENworks Reporting Server では、次のレポートフォルダを使用できます。

- ◆ **お気に入りフォルダ**：お気に入りフォルダは管理者個人のフォルダです。このフォルダは、レポートの作成 / 削除権またはレポートの実行 / 発行権を持つ管理者が使用できます。管理者は、レポートの作成 / 削除権を持っている場合にのみ、このフォルダ内にレポートを保存できます。サーバ上の他の管理者がこのフォルダを参照することはできません。

お気に入りフォルダに対してレポートの作成 / 削除権を持つ管理者は、カスタマイズした InfoView ページレイアウトをお気に入りフォルダに保存することもできます。

InfoView ページレイアウトのカスタマイズの詳細については、『[BusinessObjects Enterprise XI 3.1 InfoView ユーザーズガイド](http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf)』（http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf）を参照してください。

- ◆ **Novell ZENworks レポートフォルダ**：これは、ZENworks Reporting Server 上の ZENworks 管理者すべてがアクセスできる共有フォルダです。このフォルダは、カスタムレポートサブフォルダおよび事前定義されたレポートサブフォルダで構成されます。
 - ◆ **事前定義されたレポートフォルダ**：事前定義されたレポートフォルダには、製品にバンドルされているレポートが格納されます。このフォルダとその内容には、サーバ上のすべての管理者がアクセスできます。管理者は、レポートの実行 / 発行権が割り当てられている場合にのみ、これらのレポートの履歴インスタンスをスケジュール、表示、および管理できます。ただし、これらのレポートを変更、作成、または削除することはできません。

事前定義されたレポートフォルダにレポートの作成 / 削除権を割り当てても、フォルダに適用されるのはレポートの実行 / 発行権だけです。

事前定義されたレポートフォルダ内にある各レポートのレポート定義については、[14 ページのセクション 2.1.3 「事前定義されたレポートの理解」](#)を参照してください。
 - ◆ **カスタムレポートフォルダ**：レポートの作成 / 削除権を持つ管理者は、カスタムレポートフォルダ内にサブフォルダやレポートを作成し、レポーティング権に基づいて他の ZENworks 管理者と共有することができます。

2.1.3 事前定義されたレポートの理解

事前定義されたレポートフォルダには、バンドル、ポリシー、パッチ管理、検出デバイス、およびアセット管理向けの事前定義レポートが含まれています。

ZENworks 標準テンプレートフォルダには、A4- 横向き、A4- 縦向き、レター - 横向き、レター - 縦向きフォーマットが含まれています。これらのフォーマットでカスタマイズしたレポートを生成できます。テンプレートの使用方法の詳細については、[15 ページの「ZENworks 標準テンプレートを使用したレポートの作成」](#)を参照してください。

事前定義されたレポートのそれぞれのレポート定義の詳細については、次の表を参照してください。

表 2-1 定義済みレポート

定義済みレポート	説明
Asset Management	『ZENworks 10 Asset Management リファレンス』の「事前定義レポートの表示」を参照してください。
バンドルおよびポリシー	『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「事前定義レポートの表示」と、『ZENworks 10 Configuration Management Policy Management リファレンス』の「事前定義レポートの表示」を参照してください。
検出されたデバイス	『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、リタイアリファレンス』の「事前定義レポートの表示」を参照してください。
パッチ管理	『ZENworks 10 Patch Management リファレンス』を参照してください。
ZENworks システム	このフォルダには、デバイスリスト、不適合デバイス、ZENworks ライセンス情報、ZENworks メッセージ、ZENworks サーバ統計レポートが含まれます。 デバイスリストおよび不適合デバイスレポートの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、リタイアリファレンス』の「事前定義レポートの表示」を参照してください。 ZENworks ライセンス情報レポートの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks 10 製品のライセンス登録」を参照してください。 ZENworks メッセージレポートの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。 ZENworks サーバ統計レポートの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks サーバ」を参照してください。

ZENworks 標準テンプレートを使用したレポートの作成

ZENworks 標準テンプレートフォルダのテンプレートを使用するには、[Web Intelligence(Web インテリジェンス)] 初期設定の [Select a default creation/editing tool(デフォルトの作成/編集ツールを選択)] オプションを [詳細] に設定します。初期設定の設定方法は、22 ページのセクション 2.6 「ZENworks Reporting Server InfoView 初期設定の設定」を参照してください。

テンプレートを使用してレポートを作成するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] タブをクリックします。
- 2 [ZENworks Reporting Server] パネルで、[ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックして ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 3 [Novell ZENworks Reports] > [事前定義されたレポート] > [ZENworks Standard Templates] の順にアクセスして、該当するテンプレートを選択し、[Organize(整理)] > [コピー] の順にクリックします。

- 4 テンプレートを書き込み権限のあるカスタマイズしたレポートフォルダに貼り付けます。
- 5 カスタマイズしたレポートフォルダでテンプレートを選択して、[アクション] > [プロパティ] の順にクリックしてテンプレートのタイトルを編集し、新しいレポートの名前を指定して [OK] をクリックします。
- 6 テンプレートを選択して、[アクション] > [変更] の順にクリックします。
- 7 ツールバーの [Edit Query(クエリの編集)] をクリックします。
- 8 [Results Objects(結果オブジェクト)] ペインにあるオブジェクトを削除します。
- 9 オブジェクトを ZENworks ユニバースから [Results Objects(結果オブジェクト)] ペインにドラッグして、レポートを作成します。
- 10 [クエリの実行] をクリックします。
- 11 左側のペインの [データ] タブをクリックして、オブジェクトを [データ] パネルから右側のレポートにドラッグします。
- 12 レポートを保存します。

2.1.4 管理者へのレポートイング権の割り当て

デフォルトではスーパー管理者は、事前定義されたレポートフォルダに対してはレポートの実行/発行権、カスタムレポートフォルダとお気に入りフォルダに対してはレポートの作成/削除権をそれぞれ持っています。これらの権利をスーパー管理者が変更または書き直すことはできません。

事前定義されたレポートフォルダ、カスタムレポートフォルダ、およびお気に入りフォルダに対して特定の権利を他の管理者に割り当てる必要があります。

これらのレポートイング権は、管理者に割り当て可能な役割内でも指定できます。役割の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「管理者の役割の管理」を参照してください。

レポートイング権を管理者に割り当てるには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] タブをクリックします。
- 2 [管理者] パネルで、レポートイング権を割り当てる管理者を選択します。
- 3 [割り当てられた権利] パネルで [追加] をクリックし、[レポートイング権] を選択して [レポートイング権] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [追加] をクリックして、管理者のレポートイング権を割り当てるフォルダまたはレポートをブラウズして選択します。
レポートフォルダに割り当てた権利は、お気に入りフォルダ、カスタムフォルダ、および事前定義されたレポートフォルダにも自動的に適用されます。事前定義されたレポートフォルダおよびお気に入りフォルダのコンテンツに個々に権利を割り当てることはできません。
- 5 割り当てるレポートイング権を選択します。
レポートに対するレポートの作成/削除権およびレポートの実行/発行権を管理者に許可または拒否できます。
- 6 [OK] をクリックします。

2.2 レポートフォルダの同期化

ZENworks スーパー管理者がレポートフォルダおよび Web インテリジェンスドキュメントに対するレポート権を他の管理者に付与できるようにするには、ZENworks Reporting Server InfoView で作成したレポートフォルダおよび Web インテリジェンスドキュメントを、ZENworks Configuration Management と同期する必要があります。ZENworks Reporting Server InfoView は、この同期間隔を設定します。また、手動でこの同期を設定することもできます。

同期間隔を手動で設定するには、次の操作を実行します。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで [レポートサービス] をクリックします。
- 3 [フォルダ同期スケジュール] をクリックして [フォルダ同期スケジュール] ページを表示します。
- 4 ZENworks Reporting Server InfoView で作成したカスタムレポートフォルダを ZENworks コントロールセンターと同期する更新間隔を指定します。デフォルトの更新間隔は 5 分です。
- 5 [OK] をクリックし、変更を保存します。

zman コマンドラインユーティリティを使用してレポートフォルダを同期することもできます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management コマンドラインユーティリティリファレンス』の「レポートコマンド」を参照してください。

重要 : ZENworks Reporting Server で、フォルダ内に同じ名前のサブフォルダとレポートファイルの両方がある場合、ZENworks Configuration Management と同期されるのは、最初に作成されたオブジェクトだけです。したがって、レポートおよびレポートフォルダを同じ名前で作成しないことをお勧めします。

2.3 ZENworks Reporting Server のパスフレーズの変更

ZENworks コントロールセンターから ZENworks Reporting Server InfoView を起動する場合、ZENworks プライマリサーバは、自動的に、パスフレーズを使用して ZENworks Reporting Server に対して認証を行い、ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。このパスフレーズは自動的に生成され、ZENworks Reporting Server のインストール時に設定されます。スーパー管理者はこのパスフレーズを新しいランダムな値に変更できます。

パスフレーズを変更するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで [レポートサービス] をクリックします。
- 3 [ZENworks Reporting Server のパスフレーズをリセット] をクリックして、[ZENworks Reporting Server のパスフレーズをリセット] ページを表示します。
- 4 [はい] オプションをオンにしてパスフレーズを変更し、[適用] をクリックします。

2.4 ZENworks Reporting Server からのレポートのエクスポートの設定

エクスポート先にファイルの保存場所または FTP サーバを設定することで、電子メールでレポートをエクスポートするように ZENworks Reporting Server を設定できます。

次のセクションをよく読んで、レポートのさまざまなエクスポート方法を理解してください。

- ◆ 18 ページのセクション 2.4.1 「ZENworks 管理者に電子メール通知を送信するように ZENworks Reporting Server を設定する」
- ◆ 20 ページのセクション 2.4.2 「ZENworks Reporting Server を設定して宛先のファイル保存場所を設定する」
- ◆ 21 ページのセクション 2.4.3 「ZENworks レポートサーバを設定して宛先 FTP サーバを設定する」

2.4.1 ZENworks 管理者に電子メール通知を送信するように ZENworks Reporting Server を設定する

ZENworks Reporting Server InfoView で作成したレポートを、電子メールに自動添付で配布できます。

ZENworks 管理者に電子メール通知を送信するように ZENworks Reporting Server を設定するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで [レポートングサービス] をクリックします。
- 3 [電子メール通知の設定] をクリックして [電子メール通知の設定] ページを表示します。
- 4 次のフィールドに入力します。

送信者: 受信者の電子メールアドレスを指定します。


宛先: レポートを送信する受信者の電子メールアドレスを指定します。カンマ (,) で区切れば、複数の電子メールアドレスを指定できます。

CC: レポートのカーボンコピーを送信する受信者の電子メールアドレスを指定します。カンマ (,) で区切れば、複数の電子メールアドレスを指定できます。

件名: 電子メールの件名を指定します。件名に定義済みのマクロを使用することもできます。定義済みのマクロを使用して件名を指定することもできます。☒をクリックして、使用する変数を選択します。次の表は、さまざまな変数とそれぞれのマクロを示しています。


変数	【件名】フィールドに表示されるマクロ	説明
役職	%SI_NAME%	レポートの名前です。
ID	%SI_ID%	レポート ID です。
所有者	%SI_OWNER%	レポートの所有者の名前です。

変数	【件名】フィールドに表示されるマクロ	説明
日付 / 時間	%SI_STARTTIME%	レポートがスケジュールされている日付と時間です。
ユーザのフルネーム	%SI_USERFULLNAME%	レポートをスケジュールして送信する管理者の名前です。
電子メールアドレス	%SI_EMAIL_ADDRESS%	レポートをスケジュールして送信する管理者の電子メールアドレスです。

メッセージ: 送信されるメッセージを指定します。定義済みのマクロを使用して、メッセージを送信することもできます。をクリックして、使用する変数を選択します。次の表は、さまざまな変数とそれぞれのマクロを示しています。

変数	【件名】フィールドに表示されるマクロ	説明
役職	%SI_NAME%	レポートの名前です。
ID	%SI_ID%	レポート ID です。
所有者	%SI_OWNER%	レポートの所有者の名前です。
日付 / 時間	%SI_STARTTIME%	レポートがスケジュールされている日付と時間です。
ユーザのフルネーム	%SI_USERFULLNAME%	レポートをスケジュールして送信する管理者の名前です。
電子メールアドレス	%SI_EMAIL_ADDRESS%	レポートをスケジュールして送信する管理者の電子メールアドレスです。
ビューアハイパーリンク	%SI_VIEWER_URL%	電子メールの受信者がレポートを表示するために使用するビューアの URL です。

レポートインスタンスを電子メールメッセージに添付する: レポートのインスタンスを電子メールに添付する場合は、このオプションを選択して以下の設定を設定します。

- ◆ **デフォルトのファイル名 (ランダムに生成) を使用する:** このオプションは、レポートインスタンスにデフォルトの名前を割り当てる場合に選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。
- ◆ **ファイル名を指定する:** レポートインスタンスの名前を指定するには、このオプションを選択します。定義済みのマクロを使用して、ファイル名を作成することもできます。定義済みのマクロを使用して、ファイル名を作成することもできます。をクリックして、使用する変数を選択します。次の表は、さまざまな変数とそれぞれのマクロを示しています。

変数	【件名】フィールドに表示されるマクロ	説明
役職	%SI_NAME%	レポートの名前がファイル名に追加されます。
ID	%SI_ID%	レポートの ID がファイル名に追加されます。
所有者	%SI_OWNER%	レポート所有者の名前がファイル名に追加されます。
日付 / 時間	%SI_STARTTIME%	レポートのスケジュール日時がファイル名に追加されます。
ユーザのフル ネーム	%SI_USERFULLNAME%	レポートをスケジュールして送信する管理者の名前を追加します。
電子メールアドレス	%SI_EMAIL_ADDRESS %	レポートをスケジュールして送信する管理者の電子メールアドレスをファイル名に追加します。
ファイル拡張子 (File Extension)	%EXT%	.ext 拡張子をファイル名に追加します。

- **ファイル拡張子を追加する** : ファイル拡張子をレポートインスタンスの名前に追加する場合、このオプションを選択します。

5 [OK] をクリックし、変更を保存します。

2.4.2 ZENworks Reporting Server を設定して宛先のファイル保存場所を設定する

ZENworks Reporting Server またはその他のリモートサーバ上にレポートインスタンス用の宛先ディレクトリを指定できます。

ZENworks Reporting Server を設定してファイルの保存場所を指定するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで [レポートングサービス] をクリックします。
- 3 [ファイルの場所の通知設定] をクリックして、[ファイルの場所の通知設定] ページを表示します。
- 4 次のフィールドに入力します。

ディレクトリ : レポートインスタンスを保存する宛先デバイス上にあるディレクトリのパスを指定します。

ファイル名 : デフォルト名を選択するか、またはレポートインスタンスの名前を指定できます。

デフォルトのファイル名 (ランダムに生成) を使用する : このオプションは、レポートインスタンスにデフォルト名を割り当てる場合に選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。

ファイル名を指定する： このオプションを選択し、レポートインスタンスの名前を指定します。

- **ファイル拡張子を追加する：** ファイル拡張子をレポートインスタンスの名前に追加する場合、このオプションを選択します。

ユーザ名： 宛先ディレクトリに対してファイルの書き込み権限を持っているユーザ名を指定します。

パスワード： 指定したユーザ名のパスワードを指定します。

2.4.3 ZENworks レポートサーバを設定して宛先 FTP サーバを設定する

レポートインスタンスを転送する FTP サーバ上に宛先を指定できます。

ZENworks Reporting Server を設定して保存場所を指定するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで [レポートサービス] をクリックします。
- 3 [FTP サーバ通知設定] をクリックして、[FTP サーバ通知設定] ページを表示します。
- 4 次のフィールドに入力します。

ホスト： レポートインスタンスを転送する FTP サーバのホスト名を指定します。

ポート： FTP サーバが動作しているポートを指定します。デフォルトのポートは 21 です。

ユーザ名： FTP サーバにレポートインスタンスを書き込む権限を持っているユーザ名を指定します。

パスワード： 指定したユーザ名のパスワードを指定します。

アカウント： 標準 FTP プロトコルの一部である FTP アカウント情報を指定します。FTP サーバに必要な場合のみ、この情報を提供します。

ディレクトリ： レポートインスタンスを保存する FTP サーバのディレクトリのパスを指定します。

ファイル名： デフォルト名を選択するか、またはレポートインスタンスの名前を指定できます。

自動生成： このオプションは、レポートインスタンスにデフォルト名を割り当てる場合に選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。

ファイル名を指定する： このオプションを選択し、レポートインスタンスの名前を指定します。

- **ファイル拡張子を追加する：** ファイル拡張子をレポートインスタンスの名前に追加する場合、このオプションを選択します。

2.5 ZENworks Reporting Server InfoView を起動します

ZENworks Reporting Server InfoView は、ZENworks コントロールセンターを経由しないと起動できません。ZENworks コントロールセンターにログインしている管理者は、ZENworks Reporting Server に自動的にログインします。

ZENworks Reporting Server InfoView を ZENworks コントロールセンターから起動するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] タブをクリックします。
- 2 [ZENworks Reporting Server のレポートイング] パネルで、[ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックします。

[ZENworks Reporting Server InfoView] ページに、[Novell ZENworks レポートフォルダ] が初期ビューとして表示されます。

注: 初期画面の設定を変更するには、ZENworks Reporting Server InfoView の [初期設定] ページで初期設定を行ってください。詳細については、[22 ページのセクション 2.6 「ZENworks Reporting Server InfoView 初期設定の設定」](#) を参照してください。

次の場合には、ZENworks Reporting Server InfoView が起動しないことがあります。

- BusinessObjects Enterprise XI がインストールされているサーバの DNS 名が正しく解決されません。この解決方法の詳細については、[31 ページの第 4 章「システムレポートイングのトラブルシューティング」](#) の ZENworks Reporting Server InfoView を起動できないを参照してください。
- BusinessObjects Enterprise XI が NAT を使用する ZENworks サーバにインストールされています。この解決方法の詳細については、[31 ページの第 4 章「システムレポートイングのトラブルシューティング」](#) の NAT を使用している ZENworks サーバに BusinessObjects Enterprise XI をインストールした場合、ZENworks レポートイングサーバ InfoView が起動しないことがあるを参照してください。

ZENworks Reporting Server InfoView の操作の詳細については、『[BusinessObjects Enterprise XI 3.1 InfoView ユーザーズガイド \(http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf\)](#)』を参照してください。

2.6 ZENworks Reporting Server InfoView 初期設定の設定

初期設定により、ZENworks Reporting Server InfoView をパーソナライズできます。ZENworks Reporting Server InfoView では、Web インテリジェンスドキュメントの表示全般および形式に関する初期設定を行えます。Web インテリジェンスの初期設定の詳細については、『[BusinessObjects Enterprise XI 3.1 InfoView ユーザーズガイド \(http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf\)](#)』を参照してください。

注: [パスワードの変更] 初期設定は、ZENworks Configuration Management ではサポートされていません。

一部の初期設定は ZENworks Reporting Server のインストール時にデフォルトで設定されます。ただし、これらの初期設定はニーズに合わせて変更できます。初期設定は、ZENworks Reporting Server InfoView でオブジェクトの操作を始める前に設定する必要があります。

次の表には、ZENworks Reporting Server のインストール時に、ZENworks Reporting Server InfoView の [初期設定] ページでデフォルトで選択される初期設定のリストが示されています。

表 2-2 初期設定とそのデフォルト設定

設定項目	オプション	デフォルト設定 / 値
一般	InfoView Start Page (InfoView スタートページ)	Novell ZENworks レポートフォルダ
	Document Navigation View (ドキュメントナビゲーションビュー)	フォルダ
	Set the number of objects (max.) (オブジェクト数の設定 (最大))1 ページに	10
	Document List Display (ドキュメントリスト表示)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 説明 ◆ 所有者 ◆ 日付 ◆ インスタンス数
	Document Viewing (ドキュメントビュー)	In the InfoView portal (InfoView ポータル内)
	Product Locale (製品ロケール)	ZENworks コントロールセンターを起動する際に使用したロケール
	Current Time Zone (現在のタイムゾーン)	Local to Web Server (Web サーバにローカル)
Web Intelligence(Web インテリジェンス)	Preferred Viewing Locale (指定表示ロケール)	Use browser locale (ブラウザロケールの使用)
	デフォルト表示形式の選択	Interactive
	When viewing a document (ドキュメントの表示時)	Use my preferred viewing locale to format the data (指定表示ロケールを使用するデータフォーマット)
	Select a default creation/editing tool (デフォルト作成 / 編集ツールの選択)	Interactive
	デフォルトユニバースの選択	ZENworks
Drill Options (ドリルオプション)	デフォルトでは、オプションは選択されません。	

注: [Desktop (Web Intelligence Rich Client required)](デスクトップ(Web インテリジェンスリッチクライアントが必要)) オプションはサポートされていません。

設定項目	オプション	デフォルト設定 / 値
	Start drill session (ドリルセッションの開始)	On existing report (既存レポート上)
	MS Excel への保存優先度の選択	Excel での容易なデータ処理の優先順位付け

ZENworks Reporting Server InfoView は、Novell 仕様に従ってカスタマイズされています。ZENworks Configuration Management は、これらのカスタム設定を一部上書きします。ZENworks Reporting Server InfoView で初期設定を行った場合、その設定は、現在ログイン中のセッションでのみ有効です。ただし、ZENworks Reporting Server InfoView の新しいセッションを開くと、これらのカスタム設定の一部は、ZENworks Configuration Management によって上書きされます。ZENworks Reporting Server のインストール時に初期設定に設定されたデフォルト値が初期設定に適用されます。

ZENworks Configuration Management によって上書きされる初期設定は次のとおりです。

- ◆ インタフェースロケール
- ◆ 各ドキュメントに対して表示する内容 (すべてのオプション)
- ◆ デフォルトのナビゲーションビュー
- ◆ ブラウザウィンドウを閉じたとき
- ◆ デスクトップ上

2.7 ユーザ詳細のレポートニング

ユーザの詳細レポートを使用すると、ZENworks ユーザソースからユーザの電話番号や電子メールアドレスなどの追加ユーザ情報を報告できます。(ZENworks ユーザソースは、Microsoft Active Directory* や Novell eDirectory™ などの LDAP ディレクトリです)。信頼されたユーザソースとして使用する LDAP ディレクトリを特定し、そのディレクトリに接続する必要があります。必要な場合は、複数のディレクトリに接続することもできます。[ZENworks コントロールセンター] > [環境設定] > [ユーザソース] の順に選択して、LDAP ユーザソースを設定できます。LDAP ユーザソースの作成方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ユーザソースの追加」を参照してください。

注: 新しいユーザソースまたは新しいコンテキストを ZENworks コントロールセンター内の既存ユーザリソースに追加する際には、ZENworks Reporting Server サービスの再起動が必要です。

- ◆ [24 ページの「レポートリンクの使用」](#)
- ◆ [25 ページの「Using the LDAP UID の使用による ZENworks レポートのユーザ詳細レポートへのリンク」](#)

レポートリンクの使用

ユーザ、ユーザグループ、またはユーザフォルダに割り当てられているバンドルやポリシーなどの ZENworks 機能タスクに関する報告時には、ユーザの電話番号や電子メールアドレスなどの追加ユーザ情報の収集が必要な場合があります。そのような場合は、レポートリンクの使用によって、必要な追加情報を取得できます。このためには、

ZENworks Reporting Server InfoView を使用して、ハイパーリンクをフィールドに割り当てることにより、別のレポートまたは外部 Web ページにある必要な追加情報にリンクします。レポートリンクの詳細については、BusinessObjects のドキュメント (http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf) を参照してください。

Using the LDAP UID の使用による ZENworks レポートのユーザ詳細レポートへのリンク

ユーザ詳細レポートには、レポートデータに関して、次の事前定義フィルタがあります。

- ◆ **ユーザ ID:** ユーザ ID に基づいてユーザをフィルタします。ユーザ ID は、通常、ログイン用のユーザ名として使用される短い名前です。
- ◆ **ユーザグループ:** 所属するグループに基づいてユーザをフィルタします。
- ◆ **ユーザフォルダ:** 常駐するフォルダに基づいてユーザをフィルタします。このフォルダは、ユーザが常駐する特定のフォルダであるか、ルートフォルダです。
- ◆ **LDAP UID:** ユーザ詳細レポートを ZENworks レポートとリンクします。LDAP UID は、固有のユーザ、ユーザグループ、またはユーザフォルダの一意の識別子であり、レポート作成中の [クエリフィルタ] ペインでのみ使用されます。

バンドル割り当てレポートをユーザ詳細レポートとリンクさせる例

LDAP UID フィールドを使用して、バンドル/ポリシー割り当てカスタムレポート内のユーザを、ユーザ詳細レポート内の対応する詳細とリンクできます。

- 1 ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 2 [パブリックフォルダ] > [Novell ZENworks レポート] > [事前定義されたレポート] > [バンドルおよびポリシー] フォルダの順に移動します。
- 3 デバイス割り当てられているバンドルおよびポリシーのレポートをカスタムレポートフォルダにコピーします。
オブジェクトをコピーおよびペーストする方法の詳細については、『BusinessObjects Enterprise XI 3.1 InfoView ユーザーズガイド (http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf)』を参照してください。
- 4 カスタムレポートフォルダで、デバイスに割り当てられたバンドルおよびポリシーレポートを開き、[クエリの編集] をクリックします。
- 5 [ZENworks] ペインで、[バンドルおよびポリシー] > [割り当て] の順にナビゲートします。
- 6 コンシューマ LDAP ID オブジェクトを [結果オブジェクト] ペインに移動し、[クエリの実行] をクリックし、最後に、レポートを保存します。
- 7 ユーザ詳細レポートとリンクさせたい列のセル内で右クリックし、次に、[ハイパーリンク] > [新規] の順にクリックして [ハイパーリンクの作成] ダイアログボックスを表示します。
- 8 [参照] をクリックして、[ドキュメントの選択] ダイアログボックスを表示します。
- 9 リンクしたいユーザ詳細レポートを選択して、[OK] をクリックします。
- 10 表示された [プロンプトの選択] ダイアログボックスで、[LDAP UID の値を入力する] チェックボックスを選択し、次に、[OK] をクリックして [ハイパーリンクの作成] ダイアログボックスに戻ります。

- 11 [ドキュメントプロンプト] グループ内で、[LD の値を入力する] ドロップダウンリストをクリックして、[オブジェクトの選択] を選択します。[変数の選択] ダイアログボックスが表示されます。
- 12 [使用可能なオブジェクト] リストで、[コンシューマLDAP ID] を選択し、次に、[OK] をクリックして、[ハイパーリンクの作成] ダイアログボックスに戻ります。
- 13 [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

レポートの作成と管理

ZENworks Configuration Management を使用すると、レポート定義を作成し、レポートを管理できます。

- 27 ページのセクション 3.1 「カスタムレポート定義の作成」
- 27 ページのセクション 3.2 「レポートの管理」
- 29 ページのセクション 3.3 「レポートディスカッションの管理」

ZENworks Reporting Server レポートの作成の詳細については、『[BusinessObjects Enterprise XI 3.1 InfoView ユーザーズガイド \(http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf\)](http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf)』を参照してください。

3.1 カスタムレポート定義の作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 ZENworks Reporting Server の [レポーティング] パネルで、[ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックして ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 3 ZENworks Reporting Server InfoView パネルで、[新規作成] > [Web インテリジェンスドキュメント] の順にクリックします。

注: [Desktop Intelligence Document(デスクトップインテリジェンスドキュメント)], [Analytic(分析)], [Corporate Dashboard(企業ダッシュボード)] オプションはサポートされていません。

- 4 [ユニバース] ペインで、ユニバースを作成し、レポートを作成するユニバースオブジェクトに移動して、オブジェクトを右側のペインにドラッグします。
- 5 [クエリの実行] をクリックします。
- 6 レポートを保存します。

「ZENworks Reporting Server - Custom Report Library (<http://www.novell.com/communities/cool solutions/zrslibrary>)」から、追加レポートをダウンロードして、ZENworks 環境で使用することもできます。

3.2 レポートの管理

レポートを変更、スケジュール、削除できます。以前のレポートのインスタンスまたは最新のインスタンスを表示することもできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 ZENworks Reporting Server の [レポーティング] パネルで、[ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックして ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 3 必要に応じて、レポートを表示または変更します。

次の表を参照して、レポートで実行できるタスクを理解してください。

タスク	ZENworks Reporting Server InfoView を使用する 場合	コマンドラインを使用する 場合	追加の詳細
古いレポートインスタンスの表示	[アクション] > [履歴] の順にクリックします。	report-list-history (rplh) [options] (report name) (report folder) (report type)	表示できるレポートインスタンスを一覧にします。
レポートの最新インスタンスの表示	[アクション] > [View Latest Instance(最新のインスタンスの表示)] の順にクリックします。	使用不可	最新のインスタンスとは、最も最近作成されたインスタンスです。
レポートまたはレポートインスタンスの削除	[アクション] > [削除] の順にクリックします。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ report-delete-definition (rpdd) (report name) (report folder) (report type) ◆ report-delete-definition-by-id (rpddbi) (report ID) ◆ report-delete-from-history (rpdfh) [options] (report name) (report folder) (report type) ◆ report-delete-from-history-by-instance (rpdfhbi) (report instance ID) 	事前定義されたレポートフォルダ内のレポートインスタンスを削除できるのは管理者アカウントだけです。
レポートの変更	[アクション] > [変更] の順にクリックします。	使用不可	レポートテンプレート、クエリ、およびレイアウトを変更できます。
レポートのスケジュール	[アクション] > [スケジュール] の順にクリックします。	report-schedule (rps) (report name) (report folder) (report type) (report destination)	決まった時刻に自動的に実行されるようレポートをスケジュールできます。
1つのレポートのインポート	使用不可	report-deploy (rpd) (file path) (destination folder) [report type]	1つのレポートをZENworks Reporting Server にインポートできます。

タスク	ZENworks Reporting Server InfoView を使用する 場合	コマンドラインを使用する 場合	追加の詳細
すべてのカスタムレポートのインポート	使用不可	<code>report-load (rpld) (source folder)</code>	すべてのレポート、レポート権、および所有権の詳細を指定のフォルダからカスタムレポートフォルダにインポートします。
1つのレポートまたはレポートインスタンスのエクスポート	使用不可	<code>report-generate-now (rpgn) [options] (report name) (report folder) (report type) (format type) (report destination)</code>	レポートをファイルにエクスポートできます。 レポート定義をエクスポートするには、レポートタイプをWIDとして設定する必要があります。
すべてのカスタムレポートのエクスポート	使用不可	<code>report-save (rpsv) (destination folder)</code>	レポート、レポート権、および所有権の詳細をローカルZENworks Reporting Server から指定のフォルダにエクスポートできます。 レポート定義をエクスポートするには、レポートタイプをWIDとして設定する必要があります。

zman コマンドラインユーティリティの使用方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management コマンドラインユーティリティリファレンス』の「レポートコマンド」を参照してください。

3.3 レポートディスカッションの管理

ZENworks Reporting Server InfoView の [Discussions] パネルは、すべての管理者がディスカッションを行うためのチャンネルです。このパネルは、レポートの実行 / 発行権を持つユーザが使用できます。

[Discussions(ディスカッション)] パネルを開くには、ウィンドウの右下隅の矢印をクリックします。ディスカッションの管理の詳細については、『BusinessObjects Enterprise XI 3.1 InfoView ユーザーズガイド(http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf)』を参照してください。

システムレポートのトラブルシューティング

以降のセクションでは、ZENworks Configuration Management システムレポートの操作中に発生する可能性のある問題の解決方法について説明します。

- ◆ 31 ページのセクション 4.1 「システムレポートのエラーメッセージ」
- ◆ 33 ページのセクション 4.2 「システムレポートのトラブルシューティングストラテジ」

ZENworks Reporting Server の操作中に発生する可能性のあるその他の問題のトラブルシューティングについては、『*BusinessObjects XI Release 2 エラーメッセージガイド* (http://support.businessobjects.com/documentation/product_guides/default.asp)』を参照してください。

4.1 システムレポートのエラーメッセージ

このセクションでは、システムレポートの使用時に発生する可能性があるエラーメッセージについて詳しく説明します。

- ◆ 31 ページの「エラーが発生しました。バッチ状態は不明です。」
- ◆ 31 ページの「30270: An internal error occurred while calling the 'processDPCommands' API. (Error: WIS 30270) BOException caught:RESULT=80004005;WHAT=RefreshBatch failed」
- ◆ 32 ページの「ZENworks Reporting Server が管理ゾーンにありません。ゾーン」
- ◆ 32 ページの「このフォルダへの保存やカテゴリの編集を行う権限がありません。これらの権限が必要な場合は、BusinessObjects 管理者に問い合わせてください」
- ◆ 32 ページの「CMS <server-name> に再接続できません :6400 セッションがログオフされたか、期限切れです。(FWM 01002)」
- ◆ 33 ページの「レポートエンジンサーバを初期化できません。(エラー: RWI 00226) (エラー: INF)」

エラーが発生しました。バッチ状態は不明です。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

説明：このエラーは、ZENworks Reporting Server InfoView で、レポート生成後に親レポートフォルダにアクセスした場合に発生することがあります。

アクション：レポートの生成後、ZENworks Reporting Server からログアウトし、ZENworks Reporting Server InfoView に再度ログインします。

30270: An internal error occurred while calling the 'processDPCommands' API. (Error: WIS 30270) BOException caught:RESULT=80004005;WHAT=RefreshBatch failed

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

説明: report-deploy コマンドを使用して発行された事前定義されたレポートまたは Web インテリジェンスレポートをスケジュールすると、このエラーが発生することがあります。

考えられる原因: report-deploy コマンドでは、*.wid ファイルを BusinessObjects ファイルリポジトリに発行し、そのドキュメントを開いて、リフレッシュしてから保存し直します。データベース接続のタイムアウトなど何らかの理由でリフレッシュが失敗すると、ドキュメントが無効な状態のままになります。レポートは ZENworks Reporting Server に展開されますが、スケジュールすると失敗します。

アクション: 以下を行ってください。

- 1 ZENworks Reporting Server InfoView で、スケジュールするレポートを開きます。
- 2 [Refresh Data (データのリフレッシュ)] をクリックします。
- 3 レポートを保存します。
- 4 レポートをスケジュールします。レポートのスケジュール方法については、27 ページの第 3 章「レポートの作成と管理」を参照してください。

ZENworks Reporting Server が管理ゾーンにありません。ゾーン

ソース: ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポーティング。

説明: このエラーは、管理ゾーン内のプライマリサーバが SLES 10 64 ビットデバイスで、ZENworks レポーティングが Windows のセカンダリ ZENworks サーバにインストールされている場合に、セカンダリサーバからレポーティングを起動しようとするとき発生することがあります。ZENworks Control Center の [レポーティング] タブで、レポーティングオプションが無効にされている可能性があります。

考えられる原因: セカンダリサーバで、ZENworks Configuration Management のインストール後処理タスクが正常に完了しませんでした。

アクション: SLES 10 プライマリサーバからレポーティングを起動します。

このフォルダへの保存やカテゴリの編集を行う権限がありません。これらの権限が必要な場合は、BusinessObjects 管理者に問い合わせてください

ソース: ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポーティング。

説明: このエラーは、ZENworks Reporting Server InfoView で My InfoView にテンプレートを保存しようとしたときに発生することがあります。

考えられる原因: レポートまたはデータをお気に入りフォルダに保存する権限がありません。

アクション: お気に入りフォルダに対するレポートの作成 / 削除権を管理者から入手します。

CMS <server-name> に再接続できません :6400 セッションがログオフされたか、期限切れです。(FWM 01002)

ソース: ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポーティング。

説明： このエラーは、ZENworks Reporting Server InfoView セッションの期限が切れたため、再度 InfoView を起動しようと試みた場合に発生する可能性があります。

アクション： 次を実行します。

- 1 ブラウザからクッキーを削除します。
- 2 すべてのブラウザインスタンスを閉じます。
- 3 ZENworks コントロールセンターにログインし、ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。

レポートエンジンサーバを初期化できません。(エラー：RWI 00226) (エラー：INF)

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートイング。

考えられる原因： この問題は、Report Engine Server が実行していない場合に、レポートを作成またはアクセスしようとしたときに発生します。

アクション： Windows で、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップの [スタート] メニューから、[プログラム] > [ZENworks Reporting Server] > [ZENworks Reporting Server] > [Central Configuration Manager] > [Server Intelligent Agent] の順にクリックして、Central Configuration Manager ウィンドウを表示します。
- 2 [Restart(再起動)] をクリックします。
- 3 サービスが再起動するまで、2～3分待機します。
- 4 ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。

Linux で、次の手順を実行します。

- 1 次のコマンドをルートユーザとして実行することにより、BusinessObjects Enterprise サービスを停止します。
`/etc/init.d/BojEnterprise120 stop`
- 2 すべてのサービスが停止するまで、2～3分待機します。
- 3 次のコマンドをルートユーザとして実行することにより、BusinessObjects Enterprise サービスを開始します。
`/etc/init.d/BojEnterprise120 start`
- 4 すべてのサービスが開始するまで、2～3分待機します。

4.2 システムレポートイングのトラブルシューティングストラテジ

このセクションでは、ZENworks 10 Configuration Management システムレポートイングの使用時に発生する可能性がある問題の解決方法について説明します。

- ◆ 34 ページの「ZENworks Reporting Server InfoView を起動できない」
- ◆ 35 ページの「ZENworks Reporting Server InfoView を Internet Explorer で起動する場合、Web インテリジェンスドキュメントを開く際に ZENworks Reporting Server InfoView がハングする」

- ◆ 35 ページの「Mozilla Firefox を使用して、ZENworks Reporting Server InfoView を起動する場合、レポートの属性を変更すると、レポートが正しいデータを生成しないことがある」
- ◆ 35 ページの「英語以外のロケールで ZENworks コントロールセンターを起動すると、レポート機能が正しく機能しないことがある」
- ◆ 36 ページの「レポートサーバが SLES 10 サーバにインストールされている場合、ZENworks Reporting Server InfoView を使用してレポートを電子メールとして送信できない」
- ◆ 36 ページの「ZENworks Reporting Server が SLES 10 サーバにインストールされている場合、ZENworks Reporting Server InfoView を使用してレポートをファイルの保存場所に送信できない」
- ◆ 36 ページの「ZENworks Reporting Server InfoView で、新しい Web インテリジェンスドキュメントを作成できない」
- ◆ 37 ページの「ユーザが [Query - HTML] を使用してレポートを作成すると、レポートデータに #incompatible と表示される」
- ◆ 37 ページの「Linux デバイスでファイルの保存場所にレポートをスケジュールできない」
- ◆ 37 ページの「ZENworks Reporting Server がインストールされていない ZENworks プライマリサーバ経由で接続すると、ZENworks コントロールセンターの ZENworks Reporting Server InfoView リンクが無効になる」
- ◆ 38 ページの「ZENworks Reporting Server InfoView セッションがタイムアウトになったとき、ZENworks Reporting Server のログインコンソールから ZENworks Reporting Server InfoView にログインできない」
- ◆ 38 ページの「ZENworks コントロールセンターがフランス語または中国語ロケールで起動されている場合、ZENworks Reporting Server InfoView で新しい Web インテリジェンスドキュメントの作成中に SQL ビューアを起動できない」
- ◆ 38 ページの「NAT を使用している ZENworks サーバに BusinessObjects Enterprise XI をインストールした場合、ZENworks レポートサーバ InfoView が起動しないことがある」

ZENworks Reporting Server InfoView を起動できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートニング。

考えられる原因 1: ZENworks Reporting Server がインストールされている ZENworks サーバに対してファイアウォールがオンになっています。

アクション 1: ファイアウォールを無効にし、ZENworks Reporting Server InfoView を再起動します。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management レポートサーバインストールガイド』の「ファイアウォールの使用」を参照してください。

考えられる原因 2: この問題は、Central Management Server の起動が失敗した場合に発生する可能性があります。次のエラーメッセージが %zenworks_home%\logs\zcc.log ファイルに表示されます。

```
cause:com.crystaldecisions.enterprise.ocafframework.OCAFrameworkException$NotFoundInDirectory: Server <Server_name>:6400 not found or server may be down (FWM 01003)
cause:java.net.ConnectException: Connection refused: connect
detail:Server <Server_name>:6400 not found or server may be down (FWM 01003) Connection refused: connect
detail:Server <Server_name>:6400 not found or server may be down (FWM 01003) Connection refused: connect
```

アクション 2: Novell Support [にお問い合わせください](http://www.novell.com/support)。(http://www.novell.com/support)

考えられる原因 3: BusinessObjects Enterprise XI がインストールされているサーバの DNS 名が正しく解決されません。

アクション 1: ZENworks コントロールセンターが起動される Windows サーバで、%Windows_root%\systems32\drivers\etc\hosts ファイルに適切な DNS エントリを追加します。

ZENworks Reporting Server InfoView を Internet Explorer で起動する場合、Web インテリジェンスドキュメントを開く際に ZENworks Reporting Server InfoView がハングする

ソース: ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

説明: ZENworks Reporting Server InfoView を Internet Explorer 内で起動すると、Web インテリジェンスドキュメントを開く際に ZENworks Reporting Server InfoView がハングし、次のメッセージが表示されません。

Please wait while the document is being processed.

アクション: レポートサーバを信頼済みサイトのリストに追加します。

- 1 Internet Explorer で、[ツール] > [インターネット オプション] の順にクリックします。
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックしてから [サイト] をクリックします。
- 3 レポートサーバのサイトアドレスを指定します。
- 4 [追加] をクリックします。
- 5 [OK] を 2 回クリックします。

Mozilla Firefox を使用して、ZENworks Reporting Server InfoView を起動する場合、レポートの属性を変更すると、レポートが正しいデータを生成しないことがある

ソース: ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

アクション: 推奨バージョンの Internet Explorer を使用して ZENworks Reporting Server InfoView を起動し、必要に応じて属性を変更してからレポートを生成します。Internet Explorer の推奨バージョンの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「管理ブラウザ要件」を参照してください。

英語以外のロケールで ZENworks コントロールセンターを起動すると、レポート機能が正しく機能しないことがある

ソース: ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

アクション： 英語ロケールを使用して ZENworks コントロールセンターを起動します。

レポートサーバが SLES 10 サーバにインストールされている場合、ZENworks Reporting Server InfoView を使用してレポートを電子メールとして送信できない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートイング。

説明： ZENworks Reporting Server が SLES 10 サーバにインストールされている場合、ZENworks Reporting Server InfoView を使用してレポートを電子メールとして送信しようとする ([ヘッダ] パネルから、[送信] > [To Email(電子メールへ)] の順にクリック)、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

```
The destination plugin required for this action is disabled.  
If you require this functionality, please contact your system  
administrator.
```

アクション： なし。

ZENworks Reporting Server が SLES 10 サーバにインストールされている場合、ZENworks Reporting Server InfoView を使用してレポートをファイルの保存場所に送信できない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートイング。

説明： ZENworks Reporting Server が SLES 10 サーバにインストールされている場合、ZENworks Reporting Server InfoView を使用してレポートをファイルの保存場所に送信しようとする ([ヘッダ] パネルから、[送信] > [To File Location(ファイルの場所へ)] の順にクリック)、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

```
The destination plugin required for this action is disabled.  
If you require this functionality, please contact your system  
administrator.
```

アクション： なし。

ZENworks Reporting Server InfoView で、新しい Web インテリジェンスドキュメントを作成できない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートイング。

説明： ZENworks Reporting Server InfoView で、新しい Web インテリジェンスドキュメントの作成中に [クエリの実行] をクリックすると、エラーが発生することがあります。

考えられる原因： Web Intelligence ドキュメントの [レポートパネル] 初期設定が [Query - HTML] に設定されています。

アクション： Web Intelligence ドキュメントの [レポートパネル] 初期設定を [Java Report Panel] に変更します。

- 1 ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 2 [初期設定] をクリックします。
- 3 [Web Intelligence ドキュメント] タブをクリックします。

- 4 [Java Report Panel] を選択します。
- 5 [適用] > [OK] の順にクリックします。

ユーザが [Query - HTML] を使用してレポートを作成すると、レポートデータに #incompatible と表示される

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートニング。

考えられる原因：レポート作成時に、Web Intelligence ドキュメントの [レポートパネル] 初期設定が [Query - HTML] に設定されています。

アクション：次の操作を実行して、Web Intelligence ドキュメントの [レポートパネル] 初期設定を [Java Report Panel] に変更します。

- 1 ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 2 [初期設定] をクリックします。
- 3 [Web Intelligence ドキュメント] タブをクリックします。
- 4 [Java Report Panel] を選択します。
- 5 [適用] > [OK] の順にクリックします。
- 6 レポートを再度作成します。

Linux デバイスでファイルの保存場所にレポートをスケジュールできない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートニング。

説明：Linux デバイスでファイルの保存場所にレポートをスケジュールしようとする、レポートのステータスが「失敗」と表示されます。[失敗] をクリックすると、次のエラーメッセージが表示されます。

```
destination directory error. CrystalEnterprise.Disk  
unmanaged:
```

考えられる原因：[スケジュール] パネルでユーザ名とパスワードが指定されています。

アクション：Linux デバイスでファイルの保存場所にレポートをスケジュールする場合は、[ユーザ名] フィールドと [パスワード] フィールドを空白のままにします。

考えられる原因：Linux デバイス上の ZENworks ユーザが、宛先のファイルの保存場所にファイルを書き込む権限を持っていません。

アクション：Linux デバイス上の ZENworks ユーザが宛先のファイルの保存場所にファイルを書き込む権限を持っていることを確認します。

ZENworks Reporting Server がインストールされていない ZENworks プライマリサーバ経由で接続すると、ZENworks コントロールセンターの ZENworks Reporting Server InfoView リンクが無効になる

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポートニング。

考えられる原因：デバイスが、ZENworks Reporting Server がインストールされていてゾーン内にあるデバイスの DNS 名を解決できません。

アクション：デバイスの hosts ファイルに、ZENworks Reporting Server がインストールされているデバイスの IP アドレスを入力します。

hosts ファイルは、Windows では c:\WINDOWS\system32\drivers\etc\、Linux では /etc/hosts にあります。

ZENworks Reporting Server InfoView セッションがタイムアウトになったとき、ZENworks Reporting Server のログインコンソールから ZENworks Reporting Server InfoView にログインできない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

アクション：ZENworks Reporting Server InfoView を ZENworks コントロールセンターから起動します。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] タブをクリックします。
- 2 [ZENworks Reporting Server レポート] パネルで、[ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックします。

ZENworks コントロールセンターがフランス語または中国語ロケールで起動されている場合、ZENworks Reporting Server InfoView で新しい Web インテリジェンスドキュメントの作成中に SQL ビューアを起動できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

説明：ZENworks Reporting Server がフランス語または中国語で起動されている場合、新しい Web インテリジェンスドキュメントの作成中にクエリツールバーの [View SQL(SQL の表示)] をクリックするとエラーが発生することがあります。

考えられる原因：[Web インテリジェンス] の初期設定で、[デフォルトの作成/編集ツールの選択] が [対話形式] に設定されています。

アクション：[デフォルトの作成/編集ツールの選択] を [詳細] に設定します。

- 1 ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 2 ツールバーの右上隅の [初期設定] をクリックして、[初期設定] ページを表示します。
- 3 [Web Intelligence(Web インテリジェンス)] をクリックします。
- 4 [デフォルトの作成/編集ツールの選択] を [詳細] に設定します。
- 5 [OK] をクリックします。

NAT を使用している ZENworks サーバに BusinessObjects Enterprise XI をインストールした場合、ZENworks レポートサーバ InfoView が起動しないことがある

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、システムレポート。

アクション：ZENworks コントロールセンターを起動する Windows デバイスで、%Windows_root%\system32\drivers\etc\hosts ファイルに適切な DNS エントリを追加します。

参考資料

A

BusinessObjects Enterprise XI 3.1 については、次の参考資料が役に立ちます。

- ◆ *BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Administrator's Guide* (http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_admin_en.pdf)
- ◆ BusinessObjects Enterprise XI 3.1 InfoView ユーザーズガイド (http://help.sap.com/businessobject/product_guides/boexir31/en/xi3-1_bip_user_en.pdf)

マニュアルの更新

このセクションでは、Novell® ZENworks® 10 ConfigurationManagement SP3 用の『システムレポーティングリファレンス』へのマニュアルコンテンツ変更について説明します。ドキュメントの最新の更新情報をここで入手できます。

この製品のドキュメントは、HTML および PDF の 2 つの形式で Web にて提供されています。HTML および PDF ドキュメントにはこのセクションに一覧表示された変更が反映され、最新の状態に保たれています。

使用している PDF ドキュメントが最新のものであるかどうかを知る必要がある場合、PDF ドキュメントの表紙の発行日を参照してください。

このドキュメントは次の日付に更新されました。

- ◆ [41 ページのセクション B.1 「2010 年 3 月 30 日 : SP3 \(10.3\)」](#)

B.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)

次の項が更新されています。変更内容は次のとおりです。

場所	変更内容
24 ページのセクション 2.7 「ユーザ詳細のレポーティング」	このセクションを追加しました。

